陣内俊　Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESING WORKS /2008/All Rights Reserved

2023 年 4-6 月号
Vol.61

支援者の皆様へ

支援者の皆様、いつもお祈り、ご支援を心より感謝いたします。

5 月のコロナの五類引き下げなどの影響もあり、今春は東京から出る多くの機会がありました。3 月～6 月の 4 か月で、神奈川（伊豆）、群馬、長野、愛知など、3 年ぶりといって良いほどに多く出かける機会に恵まれました。6 月 8 日には豊橋の桜丘中学 2 年生への講演、6 月 11 日には国際クリスチャンバプテスト教会での礼拝説教と午後のセミナー、6 月 15 日にはキングスガーデン東京主催の「教会と地域がつながるシリーズ 第 7 回」で練馬グレースチャペルの横田牧師と共に実践発表をするなど、対外的な奉仕の機会も増えました。**オンラインで神の国のメッセージを伝えられるということはこの 3 年間の新たな発見でしたが、顔を合わせてしか伝わらないものもやはりあることを実感しています。**

世界規模の伝染病で移動が制限されたこの 3 年間に、次女・ななみが生まれ、生活のため副業として起業（陣内義塾）をし、YouTube や Podcast 配信を毎日続け 1000 本近い動画・音源をつくり、メルマガでは小説を書き始め、翻訳した書籍『もしイエス様が市長だったら』が出版され、オンラインでのセッションを通して教会や個人に仕える道筋を開拓してきました。また、夏の暑さで 2 度、鬱病の再発に見舞われもしました。

物理的な移動はほとんどしていませんが、私と家族の人生には大きな変化があり、その中には喜びも悲しみもありました。支援者の皆様も 3 年間、それぞれの場所で神様が人生の物語のページをめくり続けてくださっていたのではないでしょうか。移動することが再び可能になった今、神様が機会を開いてくださいましたら、また様々な形で皆様にお会いできますのを楽しみにしています。そのときは皆様の人生という神の物語を聞かせていただけましたら幸いです。

6 月 15 日 練馬グレースチャペルにて「地域とつながるシリーズ」

家族の近況

2 月 28 日に義父が天に帰ってから早くも 4 か月が経とうとしています。22 年前の父・学の他界のときも感じましたが、「義父のいない世界」は以前より少し静かになったように感じます。少し寂しいこの世界で生きていくことに慣れてくる部分と、まったく慣れない部分がありますが、父・学と義父がいる賑やかな天国でいつか会えるのを楽しみに、再会したときに胸を張れるような生き方をこの地上でできたらと願います。また、義父が旅立ってから、「大切な人との楽しい思い出がいちばん大事だなぁ」と強く思います。私たち夫婦も娘たちにどれだけ楽しい思い出を遺してあげられるか、ということを以前より強く意識するようになりました。今春は家族みんなで旅行に行き、義父の思い出を笑いながら語り合いました。死んでなお家族を明るく照らす義父の偉大さに少しでも近づけるよう、限りある「家族 4 人で過ごせる日々」を、1 日、1 日、心込めて作り上げていきたいと願います。

お母さんの誕生日に 2 人でケーキを作りました

4 月 10 日 次女・ななみの入園式

季節性鬱の予防のための今年の夏を北海道で過ごします

2016 年に鬱が寛解してから 5〜6 回の再発に見舞われ、そのたびに 2〜3 か月、まったく動けなくなり鬱の希死念慮や不安愁訴に苦しめられてきました。支援者の皆様にはそのたびにお祈りいただき、思いやりに満ちたお声がけによって救われてきました。しかしながら、毎年のように鬱が再発していると、あらゆる意味で人生が甚大なダメージを受けるため、FVI の働きを含めあらゆる日常が維持困難になってしまうという危機感を募らせていたのも正直なところです。

再発の時期は 8 月後半、夏の終わりに集中しており、特に 6〜8 月の高温多湿が鬱の再発のトリガー（引き金）になっていると感じています。昨秋、心療内科の医師とも「転地療養」について相談し、今年はいちど避暑を試してみることに決めました。以前から「夏を家で過ごしたら良いよ」と言ってくれていた札幌在住の親友の厚意に甘え、8 月の最初の 3 週間を北海道で過ごします。幸いなことにコロナ禍の 3 年で社会インフラが整い、ほとんど通常の仕事に影響なく転地することができます。東京の夏を避けることで鬱の再発が防げるかどうか、やってみなければ分からないのですが、これからも皆様と共に働きを続けていくために、やれることは何でも試してみようと思っています。

私の鬱はパウロに与えられた「肉体のとげ」と同じく神の力が現れるための「恵みとしての病気」だとも思っていますが、もし再発を防ぐことができるのなら、それに超したことはありません。北海道で過ごすことで私の健康（特に自律神経と脳内の化学的環境）が改善し、秋以降も元気に働けるよう期待しつつ準備しています。どうぞご加祷いただけましたら幸いです。

Podcast が多くの人に聴かれています

2019 年から始めた YouTube、Podcast の配信も気がつけば丸四年続けていることになります。**「聞き続けることで聖書的世界観というレンズで世の中を見ることができるようなコンテンツ」**を目指してほぼ毎日更新し、1000 に迫る動画・音源を配信してきました。とはいえ、分かりやすく刺激が強いものが人々の耳目を惹き付ける昨今の風潮を考えると、じっくり聞いていくうちに新しいレンズで世界を見られるようになるという私のコンテンツはその性質からして「まったくバズる要素がない」のも悩みでした。

それでも少しずつリスナーが増えていたのか、あるとき不意に知った「日本 Podcast ランキング」というサイトで、「キリスト教」カテゴリの 2 位になっていました。毎日ランキングは変わるので今はどうなっているか分かりませんが、宣伝もプロモーションもしていない個人の発信である Podcast 番組「私塾 陣内義塾」が、知らないうちに少しずつ広がり、多くの人に聞いていただけるようになったことに喜びを覚えました。

またイエスは言われた。「神の国はこのようなものです。人が地に種を蒔くと、夜昼、寝たり起きたりしているうちに種は芽を出して育ちますが、どのようにしてそうなるのか、その人は知りません。地はひとりでに実をならせ、初めに苗、次に穂、次に多くの実が穂にできます。実が熟すと、すぐに鎌を入れます。収穫の時が来たからです。」　マルコによる福音書 4 章 26～29 節

書籍『もしイエス様が市長だったら』も、Podcast 配信も、「地に種を蒔く」ようなものだと思います。伝道者の書 11 章 1 節には**「あなたのパンを水の上に投げよ。ずっと後の日になって、あなたはそれを見いだそう」**とあります。種を蒔く働きは、ときに不安になるほど、それがどこに届き、何をもたらしているのか自分には見えないことがありますが、神の国のために蒔いた種は必ず誰かの心に届き、そしてその人や周囲の人生に変化をもたらすと信じ続けることが大切だと教えられています。

「どのようにしてそうなるのか、その人は知らない」と聖書が教えているように、神様のなさることはいつも不思議で、そのプロセスを知り得なくても素晴らしいことをなさってくださると信じています。目に見えて分かりやすく計測可能な結果が出るような働きでないにもかかわらず、支援者の皆様がそれを大切だと理解してくださり、目には見えない神の働きを信じる信仰をもって祈り、いつも支えてくださっていることに心より感謝しています。

まだ聴いてない方はスマホでこちらから！

祈りの課題

◇俊・純子・かなえ・ななみの体調が守られ、感染症、事故などからも守られるように。
◇翻訳した本『もしイエス様が市長だったら』が多くの人に届けられ、読んでいただけるように。
◇8 月に北海道で過ごすことで鬱の再発予防の効果が得られるように。
◇対外的な奉仕も増え多忙になってきていますから、体調が守られ務めを果たすことができるように。

2023 年 7 月以降の主な活動予定

月　日	内　容	場所、補足
7 月 2 日	礼拝メッセージ／午後のワークショップ	ジーザスファミリーチャーチ
9 月 5～8 日	FVI 執行役員会／チャペルタイムで奉仕	万座温泉ホテル（嬬恋村）
9 月 20 日	日本伝道会議 7　分科会「もしイエス様が市長だったら」	長良川国際会議場（岐阜県）
10 月 30 日	FVI 総会	本郷台キリスト教会
随時継続的に	聖書的世界観／包括的宣教の啓発・訓練	国内各地／オンライン

＊上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

連絡先（奉仕・各種仕事のご依頼もこちらへ）

陣内への Email　shun@karashi.net　**無料メルマガ、YouTube 放送、Podcast、ブログなど→「陣内俊」で検索**

ご支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

■ゆうちょ銀行口座番号　12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
■他行からの振込　店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825　「陣内俊を支える会」
■郵貯振替口座番号　00830-1-142825　名義：「陣内俊を支える会」
（同封の振込用紙がご利用いただけます。）

＊振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
＊振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、**振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。**お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
＊Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。